

長男が誕生した時に怜(れい)と命名しました。これは若い頃の私の師匠であった経営コンサルタントの大前研一氏から「ゼロベースで考えろ！」と、常に叱咤されてきたことに由来します。人はやちもすると慣習や古い常識にとらわれてし

私の ビジネス 日記帳

まうという自戒の念を込めたものです。私がまだ20代だった時、大前さんのもとで新規事業の立ち上げを行っていました。ある時、新しいB2Bのビジネスを作り上げようと、私はコンサルタント時代の癖で、まず業界の調査を行い、それに基づいて事業計画を提案しました。これを見た大前さんは「こ

ゼロベース 上田谷真一

れから新しいビジネスをやろうという時に、どうして既存業界に取材するんだ。調べるな、聞くな、自分で考えろ。白紙から描け！」とえらい剣幕で怒鳴られました。当時、こういった感じで大前さんに毎週のように怒られていました。

その後、師匠の下を「卒業」して、「普通の」事業会社に外様経営者として転じた時に初めて、彼が怒っていたことが腹落ちしました。社内の規則や業界慣行に対してゼロベースで発想することがいかに重要か！です。今では会社・業界の生え抜きではないがゆえの利点として、開き直って自分のキャラにしています。

今でも、師匠から「ルーティーンで仕事をするな！」と耳元で鼓舞されているような気がします。(TSIホールディングス社長)